



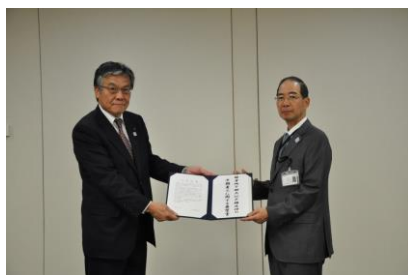
大江戸線延伸の早期着工を東京都へ要請 ～調査・手続きの開始など3項目を要望～

と き	1月30日(月)提出	場 所	東京都庁
-----	------------	-----	------

30日、大江戸線延伸促進期成同盟(会長:前川 耀男(まえかわ あきお)練馬区長)は、東京都庁を訪れ、大江戸線延伸に関する要望書を提出した。今回の要請は、昨年10月の大江戸線延伸促進大会で決議した内容を踏まえたもので、早期着工に向けた調査・手続きの開始など具体的な3項目を要望した。

期成同盟は、大江戸線の延伸が首都圏全体の交通ネットワークの充実・強化に欠くことのできない路線であることに触れたうえで「大江戸線の延伸は、国と都において、整備に向けた明確な位置づけを得ている。昨年10月の促進大会では、これまでの大会の中で最も多い1,200名の方が参加した。住民の皆様の強い期待の表れと感じている。早期着工すべきとする大会決議を持って、具体的な3項目を要望する。」と区の悲願である延伸実現に向けた強い決意を示した。

対応した安藤副知事は「練馬区をはじめ、地元の方々が整備促進に向けて、土地区画整理事業の執行、区独自の基金の積立など積極的な取組をしていることは承知している。これまで積み重ねてきた実務的な検討を引き続き進め、いくつかの課題はあるが、その解決に向けて進めていきたい。」と話した。



安藤東京都副知事へ要望書を提出



平成28年度大江戸線延伸促進大会の様子

【要望書の要旨】 ※要望書については別添のとおり

大江戸線延伸の早期着工に向け、以下の3点を進めるよう要請した。

- ・大江戸線の延伸について、練馬区と協議を進め、事業化に向けた考え方を示すこと。あわせて、着工に向けた調査・手続きを早急に開始すること。
- ・都市計画道路補助230号線の用地取得を速やかに進め、大江戸線延伸に必要な導入空間を早期に確保すること。道路整備にあたっては、大江戸線延伸に合わせた設計と工程調整に努めること。
- ・周辺道路や交通広場の整備による円滑な交通環境の確保、土地の有効利用の促進など、練馬区が実施または検討しているまちづくりへの協力・支援に努めること。

【これまでの取り組みほか】

大江戸線の延伸(光が丘～大泉学園町間)については、昨年4月に交通政策審議会の答申第198号の中で「進めるべき」6つのプロジェクトの一つとして高く評価されたほか、平成27年7月に東京都の「広域交通ネットワーク計画について」の中で整備について優先的に検討すべき5路線の一つに選定された。大江戸線の延伸については国と都から整備に向けた明確な位置づけを得ている。

こうした中、地域・区議会・区で組織する「大江戸線延伸促進期成同盟」では昨年10月に大江戸線延伸促進大会を開催し、都に対し、早期着工に向けた手続きを進めるよう要請していく旨の決議を行った。当大会にはこれまでの促進大会で最も多い1,200名が参加した。

区では、期成同盟による活動のほか、延伸に向けた都との実務的協議や大江戸線延伸推進基金の積み増し、新駅予定地周辺を中心に良質な環境に資するまちづくりを進めるなど、早期着工に向けて精力的に取り組んでいる。※平成29年度予算については1月25日プレス発表している。

【問い合わせ】練馬区 大江戸線延伸推進課 電話03-5984-1564